



ほけんだより

平成30年9月28日

名手保育園

いんご病(伝染性紅斑)

【主な症状】

- 左右のほおがいんごのように赤くはれ、場合によってはほていや痛み、かゆみが出る(紅斑は1~2週間ほどで消える)
- 肩や手足にも、レース状の赤い発しんが広がることもある(直射日光に当たったり入浴したりすると再発することも)
- 発熱はあまりないが、せきや鼻水などのかぜ症状を伴うこともある。
- 一度完治すると免疫ができるので、再び感染することはまれ。

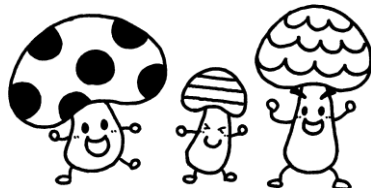
【潜伏期間】

7~14日。感染者のせきやくしゃみ、つばなどを吸い込むことよっての飛沫感染。
※発しんが出るころには、感染力がなくなっている。

【家庭での注意点】

入浴時に皮膚を刺激することで、発しんが増える場合があります。お風呂は短めに。元気でも外遊びは控えた方がいいでしょう。

☆妊婦が感染すると、胎児水腫や流死産の可能性があるのでご注意ください。



☆お知らせ☆

10月15日は内科検診です。結果はお帳面に記入しますので確認をお願いします。

